あつし塾長の

第3章・ゆとり教育世代の見えない学力

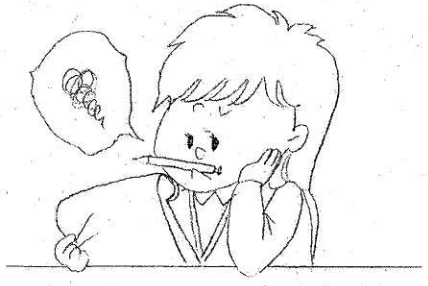
# 子のやる気 親の気づき

○○42

## 親の無理な迎合は不要

### 失敗談

## “小さな褒め言葉”選んで



by yoriko

県南の多くの中学校で今週から中3生に対する進路最終決定の三者面談が行われています。この時期、塾でも連日連夜、学習相談が続きます。1組30分刻みで予定を組んでいますが、いつも2時間前後かかってしまいます。私は親御さんと本人を前に相談はどちらの申し込みなのかを聞くことにしています。

先日も「では、何を話せばいいですか?」と聞くと、本人は「何を話せばって…あ、志望校は八戸西高にしました」と回答しホッとした表情になりました。ゆとり教育世代の子どもたちは、日常会話もメールも単語の羅列で通用してきたからでしょうか、敬語どころか主語・述語の段階でつまずく子が少なくありません。ましてや、相手と自分という立場を踏まえた会話が要求される面談の場では経験不足が見事に露呈してしまいます。

それでも、「西高に行きたい理由は?」という私の問いに懸命に答えを探し「雰囲気が良かったから」と。「では、北高を諦めたのは雰囲気?」と続けると「それは…やりたいものがないから」と本音を。私は、小中学校は学区だが高校は自分で初めて選ぶ学舎で、そこには尊敬できる先生と生涯の友達が待っていると話します。中3の12月に同じように悩み、3月の同じ難関に挑み、同じ制服を着て、同じ校歌を歌うという未来像を描けたとき、子どもは将来を語り始めます。

彼も「将来は理学療法士に。けがをしたときにカッコイイ仕事だと思いました」と語り始めました。私は「その高校からなれるの?お世話になった理学療法士さんはどこの学校を出たの?」と続けました。彼は唇をかみしめながらも素直な表情で「何も分かりません」と答えました。

もちろん私は理学療法士を目指すことを思いとどまらせ、無理に会話を弾ませたりする必要はないと思います。むしろ親は、“失敗”に気付いたわが子のしぐさや表情、うなずきを観察し“小さな褒め言葉”を選びたいものです。子は、小さな失敗を早く何度も繰り返すことで「少しずつやっていけばいいんだ」と分かるものです。

（畑山篤＝志学塾塾長）

すと言われています。子どもたちの進路決定の際には、この入学定員と卒業後の求人とのバランスについて可能な限りの吟味が大切です。そして、これはリハビリ系の職業に限らず、難関や狭き門と言われる医学部や教育学部にも当てはまることだと思っています。

私は面談に来られた親子に「成功した人の失敗談」を聞くようにアドバイスし、家庭では、失敗した人のこともわが子に伝えたらいかがですかと話します。団らんは大切ですが、特に反抗期を迎えている中学生のわが子には、親が迎合したりせず、子どもの自主性を尊重しながら、ときには厳しく接することも必要だと思います。

## 世界遺産

国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界自然遺産と人類共通の財産である文化遺産（鹿児島県）、知床（北海道）が登録されている。環境教育が、環境教育の場を提供している。

パリのユネスコは2006年に界遺産の自然境教育プログラムコキッズ」を登録地での自大自然の生学ぶ体験授業ている。

10年度は催。公募で組が原生林をツネ、マスの拓跡地の森林にも加わった「都会では太田達治君。も植物栽培や然観察はあの空気を吸いされている、た」。強く印「たくさんの力に倒されてという。絶滅されてきた野

# ニュース なぜなに

## 教育

の街を見て回る住民

た。同じ民族ですが、韓国が48年8月、北朝鮮も同年9月にそれぞれ建国し、南北二つに分かれる分断の歴史が始まりました。そして、50年に朝鮮戦争が起こりました。北朝鮮は認めていませんが、北朝鮮軍が南にせめいますが、海上については境界線の合意がありません。特に、朝鮮半島西側に広がる黄海では、韓国側は「北方限界線（NLL）」という境界線を主張し、北朝鮮側も99年に別の「海上軍事境界線」を主張して、対立が